

事務事業名 登別ブランド推進事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	2	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成
小分類	1	観光を軸とした産業クラスターの構築
主要な施策	2	地域ブランドの確立支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	登別ブランド推奨制度を推進し、当該ブランドの宣伝、販売促進、販路開拓等に向けて取り組んでいる登別ブランド推進協議会の活動を支援することにより、登別ブランド事業の推進を図り、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別ブランド推奨品の宣伝や販売促進、販路開拓に向けて支援を行う登別ブランド推進協議会に対して、その活動に要する経費を補助する。 【補助事業の内容】 登別ブランド事業推進のための各種活動、推奨品ポスター・パンフレットの作成、登別ブランド推奨認定事業者への物産展等出店支援等 【認定商品数】 15商品 平成21年度認定 10商品(いいモノ発見「のぼりべつ」) 平成22年度認定 3商品(いいモノ発見「のぼりべつ」) 平成23年度認定 2商品
今後の方向性	登別ブランド推進協議会に対して補助金を交付することで、その活動を支援していく。また、現在参加していない事業者に対しても事業内容の周知を進めるとともにご当地グルメの研究などを進めていくことで、事業の裾野を拡げていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別ブランド推進事業補助金交付要綱

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	3,854	4,200	3,700	3,700
事業費合計			0	3,854	4,200	3,700	3,700

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	認定商品数	品	目標値	-	3	10	5	5
			実績値	-	2			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>平成21年度から市が登別ブランド推進協議会事務局を担い、登別ブランド推進事業を開始した。平成23年度からは他の関係機関による支援制度などが活用しやすいように事務局を登別商工会議所に移行した。</p> <p>その間、登別ブランド推奨品の宣伝に努め、認定事業者が各種商談会などに参加できるように支援してきたことで、市民の間でも徐々に登別ブランドが浸透しつつあり、また、推奨認定を受けた事業者からも登別ブランド推奨品の売上が推奨認定前よりも増加したとの声が寄せられている。</p>	<p>現在は認定対象を加工食品に限定しているが、今後はその他の分野に関する登別ブランドとしての推奨認定の方法を研究していく必要がある。</p> <p>そのため、登別ブランド推進事業を実施している登別ブランド推進協議会に対して補助金を交付することで活動を支援し、登別ブランドの構築を促進していく。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
<b>1. 事務事業の妥当性について</b>			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	地域資源を利用して最終的には登別市のイメージを高めていくための施策であることから、市が登別ブランド推進協議会に対して補助金を交付して、その運営を支援していくことは妥当だと考える。なお、地域資源の活用については、国や道にも支援制度などがあることから、それらも併せて活用していくことで、効果的な事業が展開されるよう登別ブランド推進協議会に要請していく。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
<b>2. 事務事業の必要性について</b>			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	デフレの進行や大手資本の参入による価格競争が激しさを増す中で、地場の中小企業が競争に負けないためにはこだわりのある商品を製造する必要があり、それに対して支援をしていくことは必要性の高い事業であると考えられる。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
<b>3. 事務事業の効率性について</b>			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	登別ブランドに関するパンフレットやポスター等の作成、事業者が商談会や催事に出展する際の支援などに多額の経費を要しているが、登別ブランドの構築段階にある現状ではやむを得ず、今後、認知度が向上した際には効率性が期待できると考える。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
<b>4. 事務事業の成果について</b>			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	登別ブランドの宣伝等に努めたことで、徐々にではあるが、市民の間に登別ブランド及び登別ブランド推奨品の認知度が高まってきている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価		《Check》
<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	ブランドの構築は、相当の期間を要するものであることから、登別ブランド推進協議会に対して補助金の交付を今後も継続し、その活動を支援していく必要があるため。

行政評価会議による評価		《Check》
<b>改善</b>	備考	将来の市の財政支援について方向性を示し、協議会の自立的運営に向けた検討を促すこと。